

新除草・調節剤

トクノールM水和剤 アミプロホスメチル除草剤

(取扱メーカー) 日本特殊農薬製造株式会社

対象作物：芝（ノシバ・コウライシバ・ティフトン）。

成分・作用特性：本剤は、0-メチル 0-（2-ニトロ-4-メチルフェニル）N-イソプロピルホスホロアミドチオエート 60%を有効成分とする水和剤である。

本剤は、雑草の発芽前土壌処理型の除草剤で、その発芽抑制濃度はノビエの幼芽部の生長点に対し 2.0 ppm 以下、根部の生長点に対し 0.25 ppm 以下で50%抑制する。本剤の作用点は唯一つ、生長点の伸長抑制で形成層以外は殆んど生理作用に影響を与えない。本剤は雑草発芽時の幼芽部・根部から吸収され、分裂細胞に作用し、除草活性をあらわす。したがって、本剤は土壤中で雑草が発生してくる途中で吸収され、一般には上胚軸部分が膨大畸形化するか、子葉展開後に発根を抑制させるなどの立枯症状を呈し、枯死させる。本剤は土壌表層への吸着性に優れ、土壌粒子に吸着されると容易には雨水などで溶脱され難いため、土壌の違いや乾湿などの環境の変動に対して影響を受け難く安定した効果を示し、極長の残効性が期待できる。

毒性：急性経口毒性は、ラット♂に対しLD₅₀で1.100mg/kg、ラット♀に対しLD₅₀で1200mg/kgと低く普通物である。経皮毒性は、ラット♂♀に対し7500mg/kgであり、刺激性も皮膚や眼に対し異常はない。魚毒性は、コイで48時間 TLm 1.9 ppm でB類である。

適用雑草の範囲・使用法：メヒシバ・スズメノカタビラなどの1年生畑地雑草（キク科雑草を除く）に対しては、春期又は秋期の雑草発生前に、10アール当り本剤500～1000gを水250～300lで希釈し、土壌表面に散布する。コウライシバやティフトンに対しては、通常散布量の10～20倍にものぼる薬量を散布しても、芝の発芽伸長や萌芽時期に対し薬害や悪影響が認められず、芝草に対して極めて優れた選択性がある。

スタッカー水和剤 メチルダイムロン除草剤

(取扱メーカー) 昭和電工株式会社

対象作物：芝（コウライシバ・ヒメコウライシバ・ノシバ・ティフトン）。

成分・作用特性：本剤は、1-（ α , α -ジメチルベンジル）-3-メチル-3-フェニル尿素 50%を有効成分とする類白色の水和剤である。

本剤は、雑草の発生前に土壌処理により、ハマスゲ・ヒメクグ等のカヤツリグサ科雑草に卓効を示すとともに、スズメノカタビラなどの1年生イネ科雑草にも優れた防除効果を示す芝生用の除草剤である。本剤は、コウライシバなどの日本芝やティフトンなどのバーミューダグラスに対して安全である。本剤は、主として根部より吸収され、茎葉部に移行して芽や根の生長点を抑制する。また、ハマスゲ・ヒメクグ等の塊茎あるいは根茎が本剤の処理層にある場合は、発芽を停止する。

毒性：普通物であり、魚毒性はA類である。

新除草・調節剤

急性経口毒性は、マウスでLD₅₀ 7,660mg/kg
魚毒性は、コイで48時間TL_m> 15ppmである。

使用方法：使用基準

作物名	適用雑草名	使用時期	10a 当り 使用量	10a 当り 散布 液量	使用 方法
芝 〔コウライ シバ・ヒ メコウラ イシバ・ ノシバ・ ティフト ン〕	ハマスゲ・ヒ メクグ等のカ ヤツリグサ科 雑草及びイネ 科畑地1年生 雑草	春期，雑 草発生前	1,000 ～ 2,000 g	200 ～ 300 l	土壌 全面 散布
	スズメノカタ ビラなどの冬 生畑地雑草	秋期，雑 草発生前	500～ 1,000 g		

使用上の注意：①芝生以外には用いないこと。
②雑草発生前に 200～300l/10a の水量で散布
する。③広葉雑草の優占する所とティフトンを
除く洋芝には使用しない。

スリートン[®]

植物成長調整剤

(取扱メーカー) 武田薬品工業株式会社

対象作物：きく（ポットマム）・きく（福助
作り）・かのこゆり・てっぼうゆり・すかしゆ
り・ポインセチア・チューリップ。

成分・作用特性：本剤は、 α -シクロプロピ
ル- α （4-メトキシフェニル）-5-ピリミ
ジンメタノールを有効成分とする緑色の液体で
ある。一般名をアンシミドールといい、植物の
茎葉あるいは根から吸収されて、その植物の節
間伸長を抑制する。この作用を鉢物植物に適用
し、草姿のよい生産物を得る。本剤は双子葉植

物だけではなく、既存の節間伸長抑制剤（わい
化剤）の効果が不充分であった単子葉植物のユ
リ・チューリップにも実用上十分な効果を示す。
また既存のわい化剤同様、本剤の作用はジベレ
リンによって拮抗的に消去される。

毒性：急性経口毒性は、マウス・ラット共に
LD₅₀ 10g/kg 以上で、普通物である。魚毒性
は、コイで48時間TL_mは40ppm以上で、魚毒
性はA類である。

使用方法：使用基準

作物名	使用量	使用液量	使用時期	使用方法
きく (ポットマム)	1～2cc ／5号鉢	5～10cc/ 5号鉢	摘芯2週 間後	茎葉散布 土壌灌注
きく (福助作り)		5～10cc/ 5号鉢	鉢あげ2 週間後	茎葉散布 土壌灌注
ゆり 〔かのこ ゆり〕	3～4cc ／5号鉢	75cc/ 5号鉢	生育初期 〔草丈5 cm内外〕	生育初期 に土壌灌 注し、出 蕾期に更 に茎葉散 布する。
	1～2cc ／5号鉢	5～10cc/ 4～5号鉢	出蕾期	
ゆり 〔てっぼう ゆり・す かしゆり〕	1～2cc ／5号鉢	75cc/ 4～5号鉢	生育初期 〔草丈5 cm内外〕	土壌灌注
ポインセチア			摘芯後1 カ月以内	
チューリップ			生育初期 〔草丈3 ～5cm〕	

使用上の注意：①伸長抑制効果は、作物の種
類や品種、栽培条件、処理方法などによって異